

公民館の実践紹介⑤

岡輝公民館

お父さんたちのやる気を公民館が応援

防災キャンプを一緒に実施

PTA役員仲間が思いを実現

令和2年度はコロナウイルスの感染拡大を防止するため、中止を余儀なくされた事業が多く、先が見通せないため、新しいことに取り組むにも躊躇する状況が続いています。そんな中、岡輝公民館では新規事業として地域の方々と実行委員会を作り、昨年11月29日に「岡輝学区2020防災キャンプ」を実施しました。

防災キャンプをやろう！

実行委員会のメンバーは、地元の小中学校PTA役員経験のあるお父さんたち6人とお母さん1人が中心です。今回の事業は、そのお父さんたちから公民館に「防災について地域で取り組みたいのだけど」と相談をもちかけられたことから始まりました。

地域の防災力づくりは、「岡山市立公民館基本方針」でも重点的に取り組む分野になっており、お父さんたちのやる気を応援し、一緒に防災キャンプを実施することにしました。

11月開催に向けて計画を着々と…

3月末に公民館に相談を持ちかけられて間もなく、コロナの感染が拡大し、全国に緊急事態宣言が出され、先行きが不安になりましたが、11月開催と決め、6月から毎月話し合いを重ねました。話し合いは、毎回午後7時から行ったのですが、日中勤務の方ばかりではないので、参加できなかつたり、仕事の合間に参加したりする方もおられました。



そのような中でも開催に向けて、時には冗談を交えながらも熱心に計画を立てていき、当日行う体験内容は、自分たちで説明できるようにと、予行演習も行いました。今年はコロナ禍に加え、初めての取り組みということもあり、あまり規模を大きくせず行うことにし、会場は密にならないで行える岡輝中学校体育館をお借りしました。

防災キャンプが無事終了！

当日は幼児から高齢者まで46名の参加で、西日本豪雨災害を体験した防災士のお話を聞いた後、段ボールベッドや段ボールトイレなどの組み立て、屋外ではハイゼックス袋でのご飯炊き等を体験しました。司会や説明はすべて実行委員が担当し、また実行委員が呼び

掛けたPTAのお母さんたちも受け付けを担当してくれ、4時間のプログラムを無事終了させることができました。

後日行った実行委員の反省会では、「やってよかった。反省

点を生かし、来年も防災に関わることをしよう！」ということですぐに意見が一致しました。また、今後も定期的に集まって、自分たちがもっと防災について勉強しようということになり、次回はロープワークを学ぶ予定です。



仲間とともに思いを実現

中心メンバーのNさんは、もともと防災に関心が高く、「防災まちづくり学校」に参加されたそうです。その中で、啓発が大切だということ学びました。その後西日本豪雨災害が発生し、地域で防災に取り組む必要性をより一層強く感じ、PTA役員仲間のお父さんたちに声をかけます。そこから仲間と共に思いを実現することになりました。

このお父さん同士は、PTA活動だけでなく、飲み会などしながら交流を深めており、今回の呼びかけに快く応じてくれたそうです。協力者を得たことで、実現に向けて動き出すことができたNさんは言われています。このお父さんたちは、昨年度公民館で行われた夏のイベント「夕涼み会」では、協力して模擬店を出していました。その時の様子を見ていた館長は、「学校の異なるPTAのお父さんたちが協力して焼鳥をする様子が楽しそうで、とてもいい雰囲気だった」と振り返ります。

公民館も一緒に取り組みます

公民館は、子どもから高齢者まで誰でも利用できるのですが、現役世代の方々、特に男性に公民館活動に関わってもらうことができにくいのが現状です。今回のように、自主的に地域で防災活動に取り組もうという現役世代の方に活躍してもらうことは、新たな視点や人の広がりにもつながり、ひいては地域の防災力アップにつながるのだと思います。

「来年は中高生の参加を！やるなら楽しくやろう！」というお父さんたちから、どんな防災事業が提案されるのか楽しみです。公民館としても、ぜひ一緒に取り組んでいこうと思っています。